

平成 27 年度
事 業 報 告

自：平成 27 年 4 月 1 日
至：平成 28 年 3 月 31 日

〒389-0115
北佐久郡軽井沢町大字追分1710番地1

社会福祉法人 法延会

理事長 古屋野 順友

社会福祉法人法延会 平成 27 年度 事業報告

法人としての主な事業として、児童部門では、4月 casa 佐久花園開所、高齢者部門では、10月養護老人ホーム静山荘移転改築事業が無事完了し、新施設に移転、ショートステイ10床事業開始が挙げられる。

移転、開業に伴う準備のため、例年にはない作業があり時間的、量的に困難を極めたが、スタッフが一丸となり、利用者や家族、ボランティア等多くの方々の協力を得て、円滑に進めることが出来た。

又、役員各位、建設に携わった企業、軽井沢町はじめ関係自治体、関係機関、近隣地域住民の皆様など、事業開始に際してご協力ご尽力頂いたすべての皆様に感謝している。

そのご恩に報いるべく、今後も地域社会に貢献する事業を展開していきたい。

【高齢者部門】

静山荘

1. 新築移転事業

現場において、週1回の建設委員会を開催し、予定通りの期日に事業開始することが出来たが、検査会社の申し出により、防火シャッターや、ドア等追加工事を行うこととなり、最終的には工事が年度末まで及んだ。(費用は検査会社が支出)

尚、旧施設の解体工事は1月末に無事完了した。

入所者が生活する状況の中での工事となり、騒音の問題や工事箇所が通行できない時があり、不便をお掛けすることとなったが、無事に完了し施設の安全性が高まった。

静山荘の入所者定員については、満床を維持していたが、2月から3月にかけて続けて5名が退所となり、年間を通じて入退所者は計8名となり年度末の時点で1名定員を満たさない状況になった。

健常者、介護度が低い方が多いため、介護報酬は減収となり、身体より精神面、生活面での支援が多くなっている。

館内で執り行う行事については、場所の設定や配置などその都度検討した。

移転時は、既存ボイラーを新施設で利用するために、取り外し設置の期間や厨房が新システム導入となったため、食事は弁当、入浴は宅老所を利用するなど様々な工夫で、出来る限り通常サービスの継続を目指したがご利用者には不便をお掛けした。

移転に向けての準備作業では、処分する物品が非常に多く、入所者個人の私物についても、職員が関わりながら計画的に引越し準備を進め廃品処理業者への

依頼も数を重ねた。

移転による入所者の身体的精神的影響は心配されたが、個室になり、館内が広くなったが、自室が判らないなどの混乱はなく、新しい環境に適合している様子が見られた。

2. 入所者支援

生活移転以前は、新居への移転を楽しみに準備を進められるよう説明会や報告する機会を設け、旧施設や地域の良い思い出が出来るよう意識しながら、行事や活動に取り組んだ。

個室となったため、同室者とのトラブルは解消された。

共有スペースやお互いの居室を行き来して交流する方もいる一方で、引きこもりになりがちな利用者については、配慮するように努めている。

花見月、皐月でのクラブ活動、テレビ鑑賞、終では読書や新聞を読むなど、居室以外でも自分の時間や雑談団らんを楽しむ姿が見られる。

まだ、工夫をすれば利用できるスペースがあるので徐々に整えたい。

環境が変わった為、業務の見直しや居住空間の活用等検討しながら日常生活や行事を行った。

クラブ活動は、引き続き同じ講師にお願いし楽しんで頂いた。

理容店や美容室など行きつけの店が遠方となり、要望に応じて対処した。

移転が冬に向かう季節だったため、施設外の整備は行えなかったため、ベンチやテーブル、樹木、花植えなど徐々に整える必要がある。

3. 地域交流

移転地の三ツ石地区の皆様を招いての地域交流会や、区会の子供たちの訪問があったが、引き続き旧道地区の敬老会や、軽井沢幼稚園の餅つき招待などの交流も行った。

4. 利用者の外出

施設の移転で、周辺地域の環境が変わったが、冬に向かったことから、散歩などの外出の機会が限られた。

自立している方は、病院や趣味活動のため、バス停が近いことで、バスを利用する方がいる他、買物に近隣のコンビニエンスストアに徒歩で出かける方、散歩に出る方がいるが、自力で不可能な場合は、職員が同行した。

恒例行事は、なるべく例年通り執り行うようにしたが、経費の都合上、ご利用者のバス旅行、職員研修旅行などは本年に限り取り止めた。

5. ホームヘルプサービス

介護サービスは、年度末に要介護度の高い方が退所となり33名で全体の約半数が利用しているが、介護度が低い利用者が多い。

介護度の高い入所者は少ないが、ショートステイ利用者の支援が加わり、地域

へのサービスは前年より増加傾向である。

利用率、介護度により介護業務が安定しない面があるが、地域の関係機関や利用者家族と連携し信頼を得て利用者に満足いただけるサービスを提供できるよう職員の意識を高めるよう努め、信頼関係が培われたと思われる。特出すべき問題は発生しなかった。

地域の支援では、冬期凍結時に訪問する際、悪路でタイヤがスリップして業務に支障をきたすことが数回あった。

6. ショートステイ

ショートステイは、10月16日から開始したため低いが、平均稼働率は68.4%で、今後も利用者確保する努力を要する。

新事業のため職員体制をどのようにしていくか経過観察したが、身体状況や認知症状、人数により、職員の負担が安定しないという状況が顕著である。

受け入れ担当職員、送迎、所持品管理等、更に検討すべき課題がある。

認知症のショートステイ利用者が、他の居室に入室する、非常ベルを鳴らす、器物損壊などのトラブルが発生しており、その都度対策を講じている。

7. 業務委託

移転後、新たに清掃業者と契約を結び、年間通じトイレとメインフロアの清掃を委託した。これにより、館内の清潔美化の継続と、職員の介護以外の業務負担が軽減出来た。

全面的な委託ではなく、職員とお元気なご利用者も関わっている。

依然と同様、ほぼ毎日廃棄物の処理を委託している。

8. 職員研修

職員会議の折に、年間計画に基づき内部研修を行った。(担当講師は職員)

外部研修 県内指定の研修派遣後、職員会にて全職員に周知した。

全老協主催 施設長研修(施設長)

ケアマネージャーは、各自自主的に研修を受講した。制度や手法等、刻々と変化していくため、積極的な研修が欠かせない。ケアマネージャーの資格保持者間での情報の共有、周知に力を入れる必要がある。

職員研修旅行については、今年度、移転事業があったため行わなかった。

9. 配食サービスは、静山荘移転に伴い、配達が困難となり宅老所職員が配達することとなり夕食のみ行っている。

10. その他

移転事業に伴い様々な変化がある年度となったが、比較的順調なスタートを切ることができた。

環境整備や業務の手順など改善すべき点は多々見受けられるが、検討を重ね次年度に繋げたい。

事業実施報告

静山荘

平成27年	平成28年
4・8 不在者投票(県議選)	1・13 新年会・誕生会
22 不在者投票(町議選)	17 どんど焼き
お花見(小グループによるお花見数回実施)	2・3 豆まき
5・5 端午の節句	27 町民音楽祭
6・9 軽井沢幼稚園児花の日慰問来所	3・2 国光(洋服訪問販売)
26 誕生会	3 ひなまつり
7・7 七夕	18 彼岸法要
9 朗読ボランティア オオールリ	30 地域交流会
11 軽井沢幼稚園運動会	
22 胸部レントゲン	
8・2 軽井沢学園バーベキュー	
5 夏祭り	
11 盆法要	
12 サマーチャレンジボランティア	
18 ハローアニマル来所	
24 福祉担当者懇談会	
30 軽井沢学園ピアノ発表会	
9・6 ごん太祭り(浅間学園)	
9 敬老祝賀会	
16 中・東保育園慰問	
20 彼岸法要	
27 ふれあいまつり	
10・7 竣工式	
8 家具引越	
9 ご利用者引越	
22 旧軽井沢地区敬老会	
11・11 軽井沢幼稚園餅つき	
20 家族会	
12・5 クリスマスキャロル	
6 朗読ボランティア オオールリ	
8 イルミネーションツアー	
10 ヤングパワー餅つき	
少人数でのイルミネーションツアー数回実施	
16 忘年会/誕生会	
24 クリスマス会	
28 餅つき	
31 お年取り	

平成27年度事業報告書

事業所名 グループホーム旧軽井沢

年間実施行事

4月	お花見ドライブツアー お花見散策ツアー お茶会 やまへい招待 第1回地域運営推進会議	佐久・小諸・御代田方面へドライブをしながらお花見・外食へ出掛けました。 旧軽井沢へお花見散策・買物・お茶・外食へ出掛けました。庭の散策。 庭でお茶会を開きました。宅老所の方、来所され、お茶会をしました。 やまへいさんにご招待頂きました。2名参加。
5月	お花見ツアー コンサート 端午の節句 おはなまつり	旧軽井沢・中軽井沢・御代田・佐久方面へドライブをしながらお花見をし 買い物・外食へ出掛けました。 ウィーン少年合唱団 大賀ホールにて 1名参加。 柏餅とおちらし、歌唱でお祝いをしました。 妙順寺のおはなまつりに参加しました。
6月	避難訓練 ドライブツアー お茶会 軽井沢幼稚園来所 季刊誌「やまぼうし」発行 第2回地域運営推進会議	佐久方面・町内へドライブをしました。 庭でお茶会を開きました。 静山荘にて 4名参加
7月	オオルリ朗読会 散策 お茶会 七夕 胸部レントゲン撮影	静山荘にて 3名参加 庭でお茶会を開きました。 短冊を作り笹を飾り、七夕そうめんでお祝いをしました。
8月	夏まつり ドライブ 散策 第3回地域運営推進会議	雨天のため室内で夏まつりを開催しました。静山荘2階ホールと グループホーム室内で行いました。 佐久方面 外食 旧軽井沢の散策・買い物に出掛けました。
9月	お茶会 家族会・敬老祝賀会 ドライブツアー 町長来所 ふれあい祭り 静山荘	庭でお茶会を開きました。 家族会を兼ねた敬老祝賀会を開催しました。記念撮影とお食事をし、 お祝いをしました。 ドライブに出掛けました。 利用者様の百寿のお祝いに町長様が訪問して下さいました。 記念撮影をしました。 ふれあい祭りへ 2名参加。 引っ越し
10月	散策 誕生会 軽井沢幼稚園バザー 旧軽井沢敬老会 紅葉狩り 電話機交換	旧軽井沢銀座通り 誕生日カードを作り、利用者様のリクエストメニューでお祝いをしました。 散策を兼ねて2名参加。 旧軽井沢公民館にて 2名参加 雲場池・矢ヶ崎公園・佐久方面へ出掛けました。
11月	外出・外食 お茶会 避難訓練 第4回地域運営推進会議 インフルエンザ予防接種 季刊誌「やまぼうし」発行	佐久方面へドライブをし、回転寿司でランチをしました。 宅老所とお茶会を開きました。
12月	ヤングパワーもちつき 第5回地域運営推進会議 クリスマス会 忘年会	静山荘にてもちつきに参加しました。 ケーキを作り、歌でお祝いをしました。 よせ鍋を囲み、歌唱し、1年を振り返りました。

	年賀状 季刊誌「やまぼうし」発行 誕生日会 りんご湯 実習生来所 お年取り 1階洗面台 工事	年賀状を作成し、ご家族へ送付しました。 誕生日カードを作り、利用者様のリクエストメニューでお祝いをしました。 お年取りのメニューで1年を締めくくりました。 給湯器の取り付け。
1月	お正月 誕生日会 どんど焼き 新年会 初詣 朗読会	お正月のメニューや、カルタ・歌唱によりお祝いをしました。 誕生日カードを作り、利用者様のリクエストメニューでお祝いをしました。 どんど焼きに参加しました。 すき焼きをし、新年のお祝いをしました。 旧軽井沢の諏訪神社へ初詣に出掛けました。 静山荘へ朗読のボランティアさん来所。3名参加。
2月	節分 バレンタインデー 誕生日会 ドライブ 外部評価 やまへい招待 町民音楽祭	豆撒きをしました。 妙順寺の豆撒きに参加しました。 ボランティアさんとクッキーを作りました。 誕生日カードを作り、利用者様のリクエストメニューでお祝いをしました。 佐久方面へドライブし、買い物へ出掛けました。 マसネットワークより評価員さん来所し、外部評価を受けました。 やまへいさんより招待を受けました。2名参加。 町民音楽祭へ招待を受けました。大賀ホールにて。1名参加。
3月	ひなまつり 第6回地域運営推進会議 誕生日会 ホワイトデー 散策 外出 季刊誌「やまぼうし」発行	桜餅・ちらし寿司・菜の花のお浸しのメニューでお祝いをしました。 誕生日カードを作り、利用者様のリクエストメニューでお祝いをしました。 ドーナツを作り、お祝いをしました。 ご希望の多い回転寿司へ外食しました。

27年度実施状況

- ①旧軽井沢へ散策、佐久方面御代田方面ドライブ等、利用者様のご希望、体調に合わせて外出することができました。
天気の良い日は庭でお茶会を開催しました。宅老所の方が来所し、お茶会をし、団らんのときを持つことができました。
- ②継続して来所されている学生ボランティアさん、夏休みや春休み等、来所して下さいました。利用者様とも顔なじみになり、皆様も来所されることを楽しみにされているようでした。
- ③介護福祉士養成校の学生さん、実習に来所されました。職員も改めて初心に戻り、介護技術を見直す良い機会となりました。
- ④利用者様の2名退所され、2名入居となりました。改めて、個別ケアの重要性、地域密着の特性、グループホームに求められるケアのあり方を再確認し考える機会となりました。

28年度に向けて

- ①天候や利用者様の状態に配慮しながら、利用者様・ご家族の方のご要望に合わせた戸外での活動を実施していく。
地域とつながり、社会貢献のために、三笠通り・ロータリー周辺のゴミ拾いを実施する。
利用者様から懐かしのお店に行きたいと要望があるために実施していきたい。
- ②利用者様の要望・体力・体調に合わせた日常生活を自力で営めるようなレクリエーションの提供を実施する。
- ③ご家族の方、主治医の先生、訪問看護ステーションと密に連絡を取り、利用者様の健康管理に努める。
- ④地域のボランティアさんが来て下さる機会が増えているので、継続して来て頂けるようにかかわりを持っていく。
利用者様に喜んで頂けるようなレクリエーションの提供に生かす。
- ⑤3床増床について計画を進める。またそれに伴い、職員は認知症介護専門職として、理念に基づいたケアを提供できるよう日々学び、利用者様が気持ち良く安心して生活することができるように努力する。

平成27年度 事業報告

事業所名 宅老所ふらり

年間実施行事

4月	お花見ドライブ お花見ドライブ お花見ドライブ 誕生会	佐久、御代田方面へお花見、雪窓公園にておやつを食べました 町内のお花見スポットめぐり 矢ヶ崎公園の桜を見ながら池のほとりを散策しました ケーキと歌でお祝いしました、みなさんから一言ずつお祝いを頂きました
5月	柏餅づくり お花見ドライブ 避難訓練 ドライブ、外食	利用者さん達と柏餅づくりを楽しみました 湯川ふるさと公園の藤とつつじのお花見、笹団子を食べてきました 火災訓練－火災警報器の点検、外への避難をしました 佐久のかっぱ寿司で昼食をとり、小諸学舎にてアイリス鑑賞
6月	誕生会 バラ園見学(レイクガーデン) ドライブ、外食	ゼリーをおやつに召し上がり、お誕生日の歌でお祝いしました 南軽のレイクガーデンで満開のバラの花を楽しんできました 佐久までドライブし、スシローでお好みのお寿司を食べました
7月	七夕昼食会 誕生会 土用の丑の日	七夕飾りを作り短冊に願いを込め、昼食は冷やし中華を召し上がった 誕生者の希望により、うなぎご飯定食でお祝いしました アナゴを代用し、土用の昼食を楽しみました
8月	夏まつり ドライブ 誕生会	盆踊り、ヨーヨー釣り、魚釣りゲームを楽しみ、焼きそばやお寿司のお祭り 昼食を食べました。すいか割りは大変盛り上がり、おやつに頂きました 佐久方面へ出掛け、レク用品の買い物をしました ケーキと歌でお祝いしました
9月	ドライブ ドライブ、外食 ドライブ、外食 ドライブ、ウインドウショッピング	佐久方面、プルーン畑見学、ひまわり見学、お弁当を買って昼食をとった 佐久方面へひまわりの花見物、かりん亭にてランチ 見ごろのコスモス街道のお花見、皆さんの希望でラーメンを食べました 上田のアリオにて洋服や小物を見て歩きました、外食をしてきました
10月	栗拾い 紅葉狩り 紅葉狩り ミニ運動会	町内にて栗拾いをしました 千ヶ滝より白糸の滝へ、数名が滝まで散策しました 前田郷を散策、すばらしい紅葉を見てきました 豆移し、風船バレー、ほっかぶり競争、パン食い競争など楽しく行いました
11月	ドライブ、外食 誕生会	上田方面に出掛け、上田城周辺を見物、回転寿司にて昼食を楽しんだ 紅茶とシュークリームでお祝いをしました
12月	ドライブ、外食 買い物 クリスマス会	上田のサントミューゼ周辺をドライブ、ランチを楽しみました クリスマス用品の買い物で佐久に出掛けました、お昼は回転寿司で、 昼食に佐久の回転寿司へ出掛け、お好みのお寿司を食べました

		クリスマスケーキを食べ、ツリーを囲んで記念写真を撮りました
1月	新年会 貼り絵	オードブルや赤飯を手作りで提供し、大変喜んで下さいました 丸めたお花紙で、えとの猿の貼り絵をしました 大作なので、皆さん頑張って貼って下さいました
2月	節分 買い物 初午 おひな様見学	春のちらし寿司の昼食を食べ、豆まきをしました 食材の買い物に出掛けました、お昼はお蕎麦を食べてきました 鼻顔稲荷の初午に出掛け、出店を見ながら散策、ファミレスで昼食しました 小諸本町の町屋館へお雛様見学、二階へ上がって熱心に見学
3月	買い物、外食 ドライブ、外食 誕生会	食材の買い物に出掛けました、皆さんの希望でラーメンを食べて来ました 群馬の秋間の梅を見に行きました、回転寿司で昼食をとりました イチゴで飾ったロールケーキでお祝い、誕生者さん感激し泣いていました

27年度実施状況

- ①ご家族やケアマネ等の関係各所と連携を保ち、利用者一人一人に合わせた支援を提供しています。
- ②小規模ならではの家事作業やレクリエーションを楽しんで頂けるように工夫しています。
- ③安全にご利用頂けるように、事業所内の整理整頓を心がけています。

28年度に向けて

- ①地域との交流が行えるように心がけていきます。
- ②スタッフ間のチームワークの向上に努めます。

平成27年度事業報告書

事業所名 宅老所 みかさ

年間実施行事

4月	お花見 ドライブ お買い物 お料理 お誕生会	ロータリーの桜を見にお散歩に出掛けました。 御代田方面へドライブに出掛けました。 雪窓公園でお花見をしました。 ツルヤやマツヤへ利用者様とお買い物をしてきました。 おやつに手作りまんじゅうを利用者様と作りました。 お祝いに手作りケーキをお出ししました。
5月	設備 園芸 季刊誌「みかさだより」発行 避難訓練 端午の節句	消火設備の点検 野菜や花の鉢植えをしました。 火災を想定し避難の仕方を演習しました。 皆様に柏餅でお祝いしました。
6月	ぴんころ地蔵参拝 バラの見学 鉢植え 風越体育館	野沢のぴんころ地蔵に行き、皆様と参拝をしました。 ニュータウンのオープンガーデンでバラを見に行きました。 サルビア、マリーゴールドを植えました。 リハビリを兼ね、ランニングコースを歩きました。
7月	七夕 誕生会 季刊誌「みかさだより」発行 ドライブ 日光浴	色とりどりの短冊に願いごとを書きました。 手作りケーキでお祝いを致しました。 小諸方面へ出掛け、道の駅で買い物をしました。 縁側でお茶を飲みながら、鉢植えを眺め談笑しました。
8月	夏祭り お散歩 バイキング	はっぴを着用して歌に合わせて踊りました。 旧道へ出掛け漬物を購入し、お茶と一緒に頂きました。 昼食に皆様のお好きな物を作り召し上がって頂きました。
9月	ドライブ 避難訓練 連絡 雲場池	湯川公園へ出掛けました。 地震を想定し、避難の仕方を演習しました。 緊急連絡網を確認しました。 池の周りを散歩してきました。
10月	運動会 アイスパーク 誕生会 季刊誌「みかさだより」発行 ドライブ	玉入れ、パン食い競争を行いました。 カーリング場を見学しました。 利用者様のお好きなお料理をお出ししました。 利用者様の案内で町内をドライブしました。
11月	スキー場	軽井沢スキー場がオープンし、皆様と見学に出掛けました。
12月	忘年会 クリスマス会 そば作り	鍋を囲み余興で歌を唄いました。 手作りのケーキを頂きました。 利用者様のご家族が昼食に手打ちそばを作って下さいました。
1月	まゆ玉作り 初詣・どんど焼き 新年会	まゆ玉を柳の枝につけて飾りました。 長倉神社にお参りに行きました。どんど焼きに参加しました。 お雑煮をお出ししました。

2月	節分 避難訓練 バレンタインデー 風越公園	鬼の面をつけ、豆まきを行いました。 地震を想定して避難の仕方を演習しました。 お茶の時間にケーキをお出ししました。 スケート場とカーリング場を見学しました。
3月	ひな祭り 風越体育館 ドライブ	小諸市の町屋館で吊るし雛を見に行きました。 桜餅、ちらし寿司でお祝いをしました。 リハビリを兼ね、ランニングコースを利用者様と歩きました。 秋間梅林へお花見に行きました。

27年度実地状況

- ①行事や日々のリハビリテーション、お食事に工夫を凝らし、皆様が笑顔でお過ごし出来るように計画を立て実行し、見直しを致しました。
- ②冬季の外出の難しい時期に、体育館を利用して歩く時間を設けました。
- ③食事のアンケートを行ったり、季節ごとに話題となる食材を使って大変喜ばれました。
- ④マッサージの施術が利用者様の楽しみの一つとなっております。
- ⑤来所時には手洗いや消毒の遂行、食後の口腔ケアも引き続き行っております。
- ⑥外に花や家庭菜園をしました。暖かい日には縁側でお茶のひとつときを楽しめました。
- ⑦静山荘の移転に伴い、送迎時間が長くなったので運転に十分留意するよう話し合いました。

28年度に向けて

- ①ふらりとみかさの統合につけ、利用者様にとって、新しい環境に慣れて頂けるように努めます。
- ②利用者様の人生に寄り添う気持ちを持って、笑顔で過ごせる空間を目指します。
- ③地域交流をふまえた明るく穏やかな人間関係をつくっていきます。
- ④安全な運転、段差による転倒の注意を徹底致します。
- ⑤ご家族やケアマネージャーの連携を深め、御利用者様の健康に留意します。
- ⑥職員は日々研鑽をし、より良い宅老所づくりになるよう努めます。

ケアポートせいざん 平成 27 年度事業報告

1. 事業内容

住み慣れた地域の環境で暮らし続けて行く為出来る限り自立した日常生活を営むことが出来るよう利用者様、家族と一緒に考え、一人一人に適した介護サービスが利用でき、家族等介護者の支援も視野に入れ心配なく生活が送れるよう支援、相談の受付。サービスにあたり市町村、介護サービス事業者等関係者と連携を図りサービスが適切に行われるよう支援いたします。また常に新たな要望、問題に送球に対応、改善調整を行いながら生活の支援に努めます

- ・他県、他市町村委託による認定調査他

2. 詳細

(1) 2015 年ケアプラン作成利用者数推移

※ 別紙参照

(入院、入所利用者は件数より外れる)

新規受付 25 件 (別荘利用者除く)

解約(死亡、入所他) 15 件 (同上)

別荘利用者 5 件

(2) 介護報酬について(平成 27 年 4 月改正)

介護報酬内容(基本)

※件数は別紙参照

要介護 1~2 1042 単位

要介護 3~5 1353 単位

加算 初回加算 I (新規サービス利用者 300 単位

介護度が 2 段階変更)

入院時連携加算 I 200 単位 II 100 単位

退院・退所加算(初回加算を算定時は算定不可) 300 単位

(3) その他

住宅改修申請 3 件 福祉用具購入申請 7 件

- ・ 認定調査件数 2014 年 4 月~2015 年 3 月 他県 7 件

(軽井沢町以外より依頼)

- ・ 新規、更新、退院、様態変化時等のケアカンファレンス随時開催。

(4) 会議、研修

- ・ ケア連絡会議 隔週木曜日 8:15~ 於: 軽井沢病院会議室 20 回

- ・ 長倉クリニックケア合同ケア会議。27 年度 6 回

- ・ 町内高齢者サービス担当者連絡会議 年 12 回

施設外研修

	内容	講師	
・6月	経過記録、モニタリング記録をどう残すか	長野県協会	中村雅彦
・9月	認知症研修会	軽井沢病院	小山夏織
・9月	認知症高齢者、高齢者虐待防止啓発事業講演		有馬邦正
・10月8日、主任ケアマネフォローアップ研修		新潟医療福祉大学	河野聖夫
・12月21日	〃		
・11月7日	見える事例検討会	伊東病院臨床研修センター長	八森 淳
・11月16日	サービス担当者会議について	長野県協会	小林広美
・2月	多職種連携	鹿教湯三才山リハビリセンター	
・2月	居宅介護サービス計画書記載要領に基づくケアプラン作成		
	介護支援業務の効率化	山形県開祖支援専門員養成講師	成澤正則
	介護支援専門員更新研修(専門研修課程 I)	渡邊CM	

【 請求状況（年間） 】

条件指定：請求年月で抽出
 請求年月：平成27年04月～平成28年03月
 請求区分：通常月分、月遅れ分、再請求分、返戻分
 集計対象：事業所合計

区分内容		項目	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
居宅介護支援費		件数	560	46	42	40	45	49	50	45	51	50	49	48	45
		単位数合計	634,407	53,521	46,541	44,457	50,278	55,979	56,743	50,611	58,063	56,432	56,512	54,659	50,611
		保険請求額	6,344,070	535,210	465,410	444,570	502,780	559,790	567,430	506,110	580,630	564,320	565,120	546,590	506,110
高岡町(双葉郡)(075432)		件数	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		単位数合計	12,504	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042
		保険請求額	125,040	10,420	10,420	10,420	10,420	10,420	10,420	10,420	10,420	10,420	10,420	10,420	10,420
432111 居宅支援 I 1		件数	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		単位数合計	12,504	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042
要介護 2		件数	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
桐生市(102038)		件数	3					2	1						
		単位数合計	4,659					3,306	1,353						
		保険請求額	46,590					33,060	13,530						
432211 居宅支援 I 2		件数	3					2	1						
		単位数合計	4,059					2,706	1,353						
要介護 3		件数	2					1	1						
		単位数合計	2,706					1,353	1,353						
要介護 4		件数	1					1							
		単位数合計	1,353					1,353							
434001 居宅支援初回加算		件数	2					2							
		単位数合計	600					600							
ふじみ野市(112458)		件数	1												
		単位数合計	1,353												
		保険請求額	13,530												
432211 居宅支援 I 2		件数	1												
		単位数合計	1,353												
要介護 4		件数	1												
		単位数合計	1,353												
港区(131037)		件数	5				1	1		2					
		単位数合計	5,510				1,042	1,042		2,384					
		保険請求額	55,100				10,420	10,420		23,840					
432111 居宅支援 I 1		件数	5				1	1		2					
		単位数合計	5,210				1,042	1,042		2,084					
要介護 2		件数	5				1	1		2					
		単位数合計	5,210				1,042	1,042		2,084					
434001 居宅支援初回加算		件数	1							1					
		単位数合計	300							300					
世田谷区(131128)		件数	4					2		2					
		単位数合計	4,790					2,395		2,395					

【 請求状況（年間） 】

条件指定：請求年月で抽出
 請求年月：平成27年04月～平成28年03月
 請求区分：通常月分、月遅れ分、再請求分、返戻分
 集計対象：事業所合計

※7-1 内容		項目	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
432111 居宅支援 I 1	保険請求額	47,900						23,950	23,950						
	件数	2						1	1						
	単位数合計	2,084					1,042	1,042							
	件数	2					1	1							
	単位数合計	2,084					1,042	1,042							
432211 居宅支援 I 2	保険請求額	2,706						1,353	1,353						
	件数	2						1	1						
	単位数合計	2,706					1,353	1,353							
	件数	2					1	1							
	単位数合計	2,706					1,353	1,353							
軽井沢町（北佐久郡）(203216)	保険請求額	523	43	40	38	42	42	42	45	41	48	48	47	46	43
	件数	593,087	50,084	44,457	42,373	47,152	47,152	47,152	50,911	46,143	54,937	54,348	54,428	52,575	48,527
	単位数合計	5,930,870	500,840	444,570	423,730	471,520	471,520	471,520	509,110	461,430	549,370	543,480	544,280	525,750	485,270
	件数	2	2												
	単位数合計	2,010	2,010												
432111 居宅支援 I 1	保険請求額	399	32	33	31	34	34	34	34	30	37	36	33	33	32
	件数	415,758	33,344	34,386	32,302	35,428	35,428	35,428	35,428	31,260	38,554	37,512	34,386	34,386	33,344
	単位数合計	145	15	17	15	12	12	12	12	7	11	14	11	10	9
	件数	151,090	15,630	17,714	15,630	12,504	12,504	12,504	12,504	7,294	11,462	14,588	11,462	10,420	9,378
	単位数合計	254	17	16	16	22	22	22	22	23	26	22	22	23	23
432211 居宅支援 I 2	保険請求額	264,668	17,714	16,672	16,672	16,672	22,924	22,924	22,924	23,966	27,092	22,924	22,924	23,966	23,966
	件数	1	1												
	単位数合計	1,306	1,306												
	件数	1	1												
	単位数合計	1,306	1,306												
432211 居宅支援 I 2	保険請求額	121	8	7	7	8	8	8	11	11	11	12	14	13	11
	件数	163,713	10,824	9,471	9,471	10,824	10,824	10,824	14,883	14,883	14,883	16,236	18,942	17,589	14,883
	単位数合計	60	3	3	4	4	4	4	5	5	5	6	8	7	6
	件数	81,180	4,059	4,059	5,412	5,412	5,412	5,412	6,765	6,765	6,765	8,118	10,824	9,471	8,118
	単位数合計	47	3	3	3	3	3	3	4	4	4	5	5	5	4
434001 居宅支援初回加算	保険請求額	63,591	4,059	4,059	4,059	4,059	4,059	4,059	5,412	5,412	6,765	6,765	6,765	6,765	5,412
	件数	14	2	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1
	単位数合計	18,942	2,706	1,353	2	1,353	1,353	1,353	2,706	2,706	1,353	1,353	1,353	1,353	1,353
	件数	26	5	2	1	3	3	3	2	2	5	5	2	2	1
	単位数合計	7,800	1,500	600	300	900	600	600	600	600	1,500	600	600	600	300
436125 居宅支援入院時情報連携加算 I	保険請求額	200	200												
	件数	1	1												
436125 居宅支援入院時情報連携加算 I	保険請求額	1	1												
	件数	1	1												

【 請求状況（年間） 】

条件指定：請求年月で抽出
 請求年月：平成27年04月～平成28年03月
 請求区分：通常月分、月遅れ分、再請求分、返戻分
 集計対象：事業所合計

サービス内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	項目	合計											
	単位数合計	200									200		
	件数	1											
	単位数合計	150	150										
	件数	1	1										
	単位数合計	150	150										
	件数	6	2	1			1				1		1
	単位数合計	1,800	600	300	300	300	300				300	300	
	件数	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	単位数合計	12,504	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042
	保険請求額	125,040	10,420	10,420	10,420	10,420	10,420	10,420	10,420	10,420	10,420	10,420	10,420
	件数	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	単位数合計	12,504	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042
	件数	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	単位数合計	12,504	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042	1,042

高砂市(282160)

432111 居宅支援 I 1

要介護 1

利用者状況

静山荘

平成28年3月31日現在

1. 年齢別、性別の状況

区分	60～64	65～69	70～79	80～89	90～99	100	計	平均年齢
男	0人	3	8	6	1	0	18	77.42歳
女	0	1	10	16	12	1	40	84.40
計	0	4	18	22	13	1	58	82.15

【 男性 最低 66歳 ・ 最高 97歳 】

【 女性 最低 68歳 ・ 最高102歳 】

2. 在所期間の状況

区分	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	計	1人当たりの 平均在所期間
男	1人	9	1	5	1	0	18	3年09ヶ月
女	5	13	8	4	5	5	40	6年09ヶ月
計	6	22	9	9	6	5	58	5年09ヶ月

【 最高 38年0ヶ月 】

3. 出身市町村

	小諸市	佐久市	軽井沢町	御代田町	佐久穂町	大阪市	
男	8	3	5	1	0	1	18
女	20	8	8	3	1	0	40
計	28	11	13	4	1	1	58

※軽井沢町より4/1入所 小諸市より1名入所予定

4. 入退所者の状況

退所者8名

入所者7名

	死亡	自宅復帰 特養入所	計
小諸市	1	0	1
軽井沢町	3	0	3
佐久市	2	0	2
御代田町	1	0	1
佐久穂町	1	0	1
合計	8	0	8

	男	女	合計
小諸市	0	1	1
軽井沢町	0	3	3
佐久市	1	1	2
御代田町	0	1	1
合計	1	6	7

5. 介護保険利用者数（3月現在）

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	1	4	0	0	1	6
女	5	7	5	7	2	26
人数	6	13	5	7	3	33

1. 平成27年度月別利用状況

グループホーム旧軽井沢

利用者平均年齢

	70～79	80～84	85～89	90～	計	平均年齢	男	女
要介護1				1	0			1
要介護2			1		0			1
要介護3				2	2		1	1
要介護4				1	1			1
要介護5				2	2			1
合計	0	0	1	5	6	92.33歳	1	5

【 最低 88歳 ・ 最高 100歳 】

入所年月 最高 15年 平均 4年8ヶ月
 入退所者 退所2名(9/15.12/10) 入所2名(9/29.12/19)

宅老所 ふらり

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
営業日数	26	26	26	27	26	26	27	25	26	24	25	27	311
一般 人数	66	67	70	71	86	66	65	66	67	72	64	68	828
〃(予防) 人数	16	14	16	17	12	12	13	13	11	7	9	13	153
静山荘 人数	48	46	49	47	45	48	53	48	50	40	44	46	564
利用日数合計	130	127	135	135	143	126	131	127	128	119	117	127	1545

平均 4.96

宅老所 みかさ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
営業日数	26	26	26	27	26	26	27	25	26	24	25	27	311
一般 人数	54	58	54	69	77	69	62	47	56	38	31	48	663
〃(予防) 人数			4	8	9	5	7	4	5	4		6	52
静山荘 人数	46	37	36	40	35	44	41	35	32	28	26	26	426
利用日数合計	100	95	94	117	121	118	110	86	93	70	57	80	1141

平均 3.66

ショートステイ稼働率

	10	11	12	1	2	3	
利用者数	7	17	17	14	15	21	
利用日数	61	160	246	214	212	257	
稼働率 (%)	38.1	53.3	79.3	69.0	73.1	82.9	6ヶ月平均 68.4%

平成27年度 【新任・現任】研修計画

月	研修項目	開催日
4月	事業計画…古屋野 法人理念について…市村 保健医療研修…土屋	4/3 25名
5月	職業倫理・守秘義務…市村 保健医療研修…土屋	5/1 25名
6月	消防・防災（避難訓練）…市村 ふれあいケア…寺島 保健医療研修…土屋	6/5 24名
7月	事故防止…片山 特定給食施設等従事者研修復命…梅沢 保健医療研修…土屋	7/1 27名
8月	苦情対応…萩原 ふれあいケア…千葉 保健医療研修…土屋	8/7 20名
9月	感染症及び食中毒の発生の予防及びまん延防止…土屋・中野 ふれあいケア…渡邊 保健医療研修…土屋	9/4 20名
10月	消防・防災（避難訓練）…市村 保健医療研修…土屋	10/2 21名
11月	看取り介護…土屋 ふれあいケア…堀岡	11/6 16名
12月	虐待防止（身体拘束）・ストレスマネジメント…萩原 ふれあいケア…山崎 腰痛予防研修…土屋	12/4 20名
1月	認知症研修…堀岡 ふれあいケア…片山 保健医療研修…土屋	1/8 22名
2月	褥瘡予防…土屋 ふれあいケア…中野	2/5 17名
3月	接遇…堀岡 ふれあいケア…中野	3/4 19名

【社会福祉法人法延会】

苦情受付の状況（平成27年度）

1 申し出者

区 分	件 数	備 考
利用者	8	
家 族	0	
その他	0	
計	8	

2 受付者

区 分	件 数	備 考
施 設	職 員	5 (日勤者3/夜勤者2)
	苦情受付者	3
	投書箱	0
県社会福祉協議会	0	
行政機関	0	
その他	0	
計	8	

3 申し出の方法

区 分	件 数	備 考
文 書	0	
口 頭	8	
電 話	0	
その他	0	
計	8	

4 苦情の内容

区 分	件 数	備 考
職員の対応	2	
施設設備	0	
食事関係	0	
他の利用者	6	(養護老人ホーム利用者に対して4/ショートステイ利用者に対して2)
その他	0	
計	8	

5 対応の方法

区 分	件 数	備 考
文書で回答	0	
口頭で回答	8	
匿名で回答不可	0	
回答を求めている	0	
その他	0	
計	8	

6 苦情の主な内容

(1) 職員の対応

- ・職員が忙しんでいるように感じ声を掛けにくい (1件)
- ・ナースコールの対応。気持ちよく対応してくれる職員としてくれない職員がいる (1件)

(2) 施設設備

(3) 食事関係

(4) 他の利用者関係

- ・同室者がテレビや居室の灯りを、自分のタイミングで消してしまう (1件)
- ・同室者が洗濯の不十分な衣類を部屋干しし悪臭がする (1件)
- ・早朝のまだ寝ている時間帯に洗濯機を使用する人がいる (1件)
- ・特定の人に悪口を言われ悩んでいる (被害妄想があるご利用者。実際には言われていない) (1件)
- ・ショートステイを利用している認知症状がある利用者に、荷物をいじられてしまう (2件)

(5) その他

はじめに

児童をとりまく家庭や地域の養育環境の変化にともない、子育て機能が低下し、虐待を受けた子どもが増加するなか、児童養護施設は、利用児童の自立支援のほか、家庭の支援や地域の子育て支援の拠点としての役割が一層期待されています。

軽井沢学園においても児童福祉法の理念に基づき、児童一人ひとりの人権擁護や個性を尊重しながら、基本的な生活習慣を身につけることや、心身ともに健やかな人間育成を目指し、また、子どもにとって安心と安全が感じられる生活の場となるよう努力してきました。さらには家族の再統合や養育機能の再生に積極的に取り組んできました。

平成27年4月には、当園の掲げる個別性重視の理念や、現在、国の主導する施設の小規模化、地域分散化の方針により地域小規模児童養護施設開設「Casa 佐久花園」を開所し5名の入所児童が生活を始めました。Casa 佐久花園では家庭的雰囲気や地域との結びつきを大事に考え、区の行事や作業に参加しながら地域住民との交流に心掛けました。

利用児童については、ここ数年の新規入所の減少傾向は依然変わりなく、特に佐久管内からの入所減が顕著で今後の施設運営が危惧されます。反面、年度後半には高年齢児の虐待緊急一時保護数が多数あり、更には保護の長期化が目立つ一年でした。

運営面では、現在国の定める職員定数5.5:1のところをパート職員等積極的な人材確保で4:1の加算特例施設に該当し措置費が増え、断続勤務の緩和と年少児童に対する職員体制の強化を図りました。また、民間施設給与等改善費（民改費）引き上げにより、職員の給与面での待遇も改善しています。

平成27年度の主な事業の実施状況は次のとおりです。

I 児童の利用状況について

(1) 定員 46名（平成27年度から）

(2) 児童数（月初日在籍）	27年度（本体）	26年度	25年度
延人数	496名（436名）	484名	429名
月平均	41.4名（36.3名）	40.3名	35.8名

(3) 児童の状況（別紙—1）

II 主な事業の実施状況

（別紙—2）

III 支援内容について

1 安心安全な生活環境の確保について

被虐待児等の入所が増加する中で、児童養護施設は安心安全な生活の場の提供が支援の基盤です。施設内で、暴力や虐待、差別などが発生しないよう取り組んできました。学園独自の「10の安心」を児童に徹底し、明るい施設づくりに努めました。また、CAP（子どもへの暴力防止プログラム）のワークショップの継続的な導入に加え、園独自の性教育ワークを計画的に実施し、職員、児童の暴力防止の意識を高

め、昨年度に続き27年度も利用児童間の大きな権利侵害行為（事故発生報告件数）は0件でした。引き続き権利侵害の防止に努めてまいります。

2 個別の充実について

個別支援の充実は、施設運営の根幹をなすものであり、児童との信頼関係を形成し、一人ひとりの児童の自己肯定感を高め、将来自立していくための力を身に付けるために重要です。そのため個別担当制によって集団生活のあらゆる場面においても常に個別支援の重要性を意識しながら日々の業務を進めてきました。その反面、個別的ゆえに若手の育成、養育の一貫性等組織としての養育力の弱さも浮き彫りとなったため、28年度より先輩職員が若手職員をフォローするためのグループを設け組織的な体制を強化します。

(1) 治療的養育の推進

被虐待等で情緒的に大きな課題を抱える子どもに、良好な衣食住を提供するとともに、「治療的養育」を基本方針とし、自立支援計画については、従来の自立訓練的な支援内容中心から、生活意欲の向上、安定した人間関係の確立等精神面に重点をおいてきました。

特に、児童と担当職員と間での定期的で継続的な個別面接を行い、職員との信頼関係の確立や、児童の悩みや課題の早期解決に努めました。

(2) 保護者との調整について

当学園では、親のいない児童は少なく、児童は親側の何らかの一時的な理由で親と離れ施設で生活しています。

親子関係が不安定であった児童は、施設内の生活においても、安定した人間関係を築くことが困難で、落ち着いた生活を送ることが難しく、親からの適切な支援が必要です。しかし、親自身の課題や不安定さにより、交流が児童を不安定にさせることもありました。

児童相談所と連携し、家庭支援を行ってきましたが、児童の支援に協力を得られない親に苦慮しました。

(3) 高年齢児（中高生）への対応について

減少傾向にある高年齢児ですが、今年度は女子2名が公立高校へ進学し、男子1名が高校を卒業しました。また、中学2年の女兒が不登校傾向にあり、発達課題も含め対応に苦慮しましたが、関係機関との連携により、毎日登校できるようになりました。

(4) 児童の学力の問題について

継続して大きな課題です。引き続き、小・中学生には、学力が身につけていない児童が多く見られます。個別的な取り組みや、中学1年時からの積極的な学習塾利用、ボランティアの活用が必要です。

3 健康問題への取り組み

安心安全な生活環境の確保でも触れましたが、毎年のように発生する、感染症の流行を食い止めるために、マニュアルの作成や研修を開催しています。

児童が学校、幼稚園などで感染し、園内で他の児童へ感染する感染経路が殆どです。集団生活の中で、潜伏期間に他児に感染してしまう、隔離部屋が無いため感染防止への課題も大きいです。

27年度は、地域分散による本体施設の児童減少に加え、日頃の体力づくり、基本的な、手洗い、うがい等を励行することにより、大幅に感染症の流行を抑えることができました。軽微の胃腸炎やインフルエンザ感染はみられましたが、それ以外の感染症（ノロウイルス等）の感染児はいませんでした。

IV 住環境の整備

施設全体の老朽化が進む中、現在国の進める家庭的養護（小規模化・ユニット化）の推進計画に従い、当園においても平成31年度を目標に施設の全面改築計画の策定に入りました。今後はそのための財源確保が最大の課題となってきます。

V ケア単位の小規模化について

小規模グループケア棟「ほほえみ」を開設し7年が経過しました。27年度より新たにケア棟内での完全調理を始め、5名の児童に対し3名の専任職員による家庭的、個別的な支援を行っています。

地域小規模児童養護施設「C a s a 佐久花園」では、地域分散化の先駆けとして3名の専任保育士を中心に地域との共生を大切にしながら5名の児童の養育にあたっていますが、本園との連携等の課題を残しています。

VI 職員の専門性の向上

「治療的養育」推進のため、職員を様々な外部研修へ積極的に参加させ専門性を高めました。また、定期的に園内での職員研修を実施し、施設内虐待防止、子どもの権利擁護に関する職員の意識向上を図りました。

27年度も長野大学社会福祉学部准教授で小児精神科医である上鹿渡先生によるコンサルテーションを毎月1回行い、医学知識も得ながら、多角的なアセスメント技術の向上に努めています。

VII 施設運営の健全化

県内では、引き続き児童養護施設利用児童の減少傾向があります。

更級福祉園（長野市は）は、28年度末の閉園が決定しています。

佐久児童相談所は、平成28年4月現在51名（昨年同月58名）の児童を児童養護施設に措置委託をしています。佐久児童相談所においても、相談件数は、増加しているが、施設入所に至るような重篤な相談は少なく、在宅支援に力を入れ、新規の入所児童数は少なくなっていると受けて止めています。

これからは、児童養護施設の小規模化・分散化・ユニット化を推進しながら、施設の健全な運営も確保していく必要があります。

長期的には、他施設の改築等が進む中、当学園も児童から選ばれるような、住環境の整備も望まれるとともに、地域の子育て支援の一端を担うことのできる施設、職員を目指し、一層の自己研鑽が必要不可欠です。

VIII 地域との連携

タイガーマスク現象によって児童養護施設が脚光を浴びるようになった平成22年の同年から「軽井沢学園を応援する会」発足をはじめとし、地域の方々から、当学園への応援の輪が広がっています。

こうした応援により職員が手を抜くのではなく、ボランティアの皆さんと力を合わせ、より良い支援を実現し、応援してくださる方々の期待に応えるように運営しなければなりません。

また、地域連携することにより、地域の方が来園され、施設運営の透明性も高めることができます。

IX 職員構成について

年度末には、保育士2名と栄養士1名が退職しました。そのため、新卒保育士2名と嘱託栄養士1名を補充しました。

—職員構成—（平成27年4月1日現在）

園長 1(1)名 園長補佐兼書記 1(1)名 指導員 5(3)名 保育士 13(2)名
心理職員 1(1)名 栄養士 1(1)名 調理員 4(1)名
管理宿直 1(1)名 その他 2名 計 29(10)名（常勤 26名）
()内 男性

(別紙-1)

児童の状況 (軽井沢学園)

平成 28 年 4 月 1 日現在

1 学年別利用の状況

学年等	2歳	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	その他	計
男		1	2				1 (1)	2	2	4 (1)	2		1 (1)		2	2		19 (3)
女		1	4	1	2	1		1	2 (1)			1	1 (1)	1		1 (1)	2	18
計		2	6	1	2	1	1 (1)	3	4 (1)	4 (1)	2	1	2 (2)	1	2	3 (1)	2	37 (6)
比	33.8				40.5						13.5			16.2			5.4	100
比県	17.2				36.1						24.5			21.4			2.7	100

備考：()内は、特別支援学級・学校在籍児童

(2) 出身市町村 (入所時)

児童相談所	佐久児童相談所						中央児童相談所		計
	市町村名	小諸市	佐久市	小海町	佐久穂町	軽井沢町	御代田町	長野市	
児童数	10	13	1	2	1	4	1	5	37
比	27.0	35.1	2.7	5.4	2.7	10.8	2.7	13.5	100
世帯数	8	12	1	2	1	4	1	5	34

(3) 出身世帯の状況

類型	両親有	父子家庭	母子家庭	両親なし	計
児童数	4	8	27	2	37
比	10.8	21.6	72.9	5.4	100
比(県)	34.8	11.2	52.0	2.0	100

郡市別入所状況（平成元年度～28年3月）

軽井沢学園

区分	小諸市	佐久市	南佐久	北佐久	軽井沢	御代田	東御市	上田市	その他	計	備考	
					(再掲)							
佐久児童相談所管内							佐久児相以外					
元	2	3	1	1	1				1	8		
2	2	6		1			1	1		11		
3		7	2				1		2	12		
4	2	2	1				3		1	9		
5				1	1					1		
6	2	2	2	2	2		1			9		
7		2	4	2	2		1		1	10		
8	5	2		3	2					10		
9	7	6		4	2	1	3	1	1	22		
10	1	2	1				1	1		6		
11	1	6	2	1	1		1			11		
12		1		3	2	1			1	5		
13		3		1	1			6		10		
14	1	4		3	2	1			3	11		
15	2	2	2	2		2		1	1	10		
16	1	4		3		3	4		1	13	東御市4姉妹	
17		3						4		7		
18	9	1		1		1				11		
19	4	3	1	3	2	1		1		12		
20	2	3		1	1			1		7		
21			2	3	3			1		6		
22	4	4					2			10	小諸市3姉妹	
23	3	1								4		
24	6	2	1	1		1		1		11	小諸市3姉弟	
25	3	4								7		
26	1					1			3	5	長野市3姉弟	
27	1	3	1						1	5		
計	59	76	20	35	22	13	18	18	16	243		
比率	24.3	31.3	8.2	14.4	9.1	5.3	7.4	7.4	3.0	100		
	86.0							14.0			100	

(備考) 比率は%。

留意事項

- 1 利用人員は延べ人数である。また、兄弟、姉妹関係の利用も多いので、家庭数とは一致しない。
- 2 入所は、利用開始時の施設の定員の空席状況が大きく影響するので、当学園の入所開始数の動向と、社会的養護を必要とする児童数の増減傾向とは一致しない。
- 3 合併前の町村からの入所は、合併後の市町村の中に記載してあります。(例 臼田町⇒佐久市)

(別紙-②) 平成27年度 事業実施状況

・園内行事・地域交流・ボランティア・招待等

- 4月 9日 入学進級祝い
日 幼児花見(長野牧場)
25日 Casa開所式
- 5月 2日 東御中央公園 ピクニック(GW行事)
12日 畑整備、お好み焼き大会(GW行事)
31日 Goenフェスティバル
- 6月 13日 加藤牧場 ふれあい体験
- 7月 26日 馬子唄道中参加
29日 児童福祉連盟児童球技大会
- 8月 2日 学園屋台村
3日 ほほえみ旅行(～4日)
6日 児童福祉連盟球技大会県大会
7日 キャンプ(～8日)
15日 花火大会、無茶フェス
30日 静山荘ピアノ発表会
- 9月 12日 エコロジー大作戦
21日 Casa旅行(～22日)
22日 小学生女子旅行(～23日)
27日 社協ふれあい祭り
- 10月 4日 児童福祉施設連盟支部運動会
10日 幼児旅行①(～11日)
12日 運動部秋のスポーツ大会
17日 幼児旅行②(～18日)
24日 西部小資源回収
24日 幼児旅行③(～25日)
30日 ISAK交流
- 11月 3日 小規模交流会
7日 中学生女兒旅行(～8日)
8日 心のミュージカル鑑賞
22日 ボランティア主催イベント参加
- 12月 12日 クリスマス会
19日 七五三写真撮影
28日 もちつき
- 1月 2日 お正月旅行(～3日)
10日 花園地区どんど焼き
16日 中高男児旅行(～17日)
23日 小規模交流会
- 2月 11日 中研会による招待スキー(エコーバレースキー場)
21日 塚田出張ラーメン
22日 里親研修会、里親サロン
27日 卒園生交流会
- 3月 6日 牛角招待
10日 幼児そり遊び
12日 牛角招待
13日 牛角招待
20日 学園お別れ会
25日 小規模交流会

・職員研修等

- 4月 6日 学園説明会
22日 連盟地区役員会
- 5月 13日 子どもの虹センター研修(～14日)
- 6月 1日 第50回記念児童福祉施設大会
23日 関プロ打ち合わせ会議
24日 連盟野球・卓球ルール講習会
26日 地区指導員部会
- 7月 1日 関プロ研修会
7日 地区体育員会
11日 社会福祉士実習指導者研修
11日 SBI研修(～13日)
16日 地区運動会準備委員会
21日 東北信地区新任研修(～22日)
23日 佐久・中央児相・主任者会議
- 8月 21日 指導員部会
31日 地区編集員会
- 9月 16日 地区心理部会
16日 施設ケア初任者研修
- 10月 27日 施設見学(群馬県)
28日 関プロ研修(～29日)
- 11月 11日 地区職員研修(～12日)
17日 小舎制養育研究会(～19日)
24日 施設見学(神奈川県)
25日 施設見学(東京都)
27日 地区心理部会
- 12月 15日 子どもの虹センター研修(～17日)
21日 CAP大人ワーク
- 1月 11日 関プロ中堅職員研修会(～12日)
13日 連盟編集委員会
28日 小中連絡会
- 2月 8日 FSW研修(～9日)
18日 看護保育士部会
20日 ATTI会議
22日 里親研修会
26日 連盟支援者部会
26日 地区心理部会
29日 地区編集員会
- 3月 1日 県連心理部会
2日 東北信地区会議
4日 連盟総務委員会
8日 地区役員会
11日 県連代表者会議
24日 措置費説明会

※ その他年間を通じて実施したもの

- ・ピアノレッスンのボランティア受け入れ
- ・第三者評価・施設内職員研修会
- ・誕生月の外食・行事食の提供・避難訓練
- ・調理実習・入所児童の誕生日会
- ・児童自立支援計画票の策定・評価
- ・ケース検討(園内・関係機関)
- ・保護者面接及び家庭訪問
- ・入所児童に対する個別面接

・園内行事・地域交流・ボランティア・招待等

- 4月 19日 花園公民館掃除
25日 Casa開所式
26日 佐久プレジョブ定例会
5月 2日 バルーンフェスティバル
6日 ピクニック
13日 佐久プレジョブ定例会
31日 ※GOENフェスティバル
6月 13日 ※加藤牧場(幼児)
24日 軽井沢プレジョブ修了式
7月 18日 岩村田祇園祭
8月 2日 ※屋台村
3日 海水浴
14日 千曲川花火大会
9月 6日 花園地区防災訓練
21日 白馬旅行～22日
10月 1日 ※キラキラタイム
4日 ※地区運動会
18日 花園地区草刈り
11月 3日 ほほえみ交流会
5日 ※キラキラタイム
6日 佐久プレジョブ定例会
22日 ※信州プロレス訪問
12月 12日 ※クリスマス会
15日 ※キラキラタイム
19日 Casaクリスマス会
1月 3日 初詣
10日 花園地区どんど焼き
30日 キャラクターショー
2月 11日 ※中研会招待スキー
11日 鼻顔稲荷神社初午祭
12日 バレンタインデーお菓子作り
16日 ※CAPこどもワークショップ
18日 ※CAPこどもワークショップ
21日 ※塚田出張ラーメン
3月 4日 佐久プレジョブ定例会
10日 ※そり遊び
13日 ※牛角招待
20日 ※卒園式
21日 佐久プレジョブカラオケ大会
29日 滝沢牧場

・職員研修等

- 4月 20日 SGK
5月 26日 ※連盟ルール講習会
7月 8日 ※施設内研修
8月 26日 SGK
9月 16日 ※がらくた座講演
16日 施設ケア初級研究会
10月 1日 ※施設内研修
27日 ※施設見学
29日 SGK
11月 5日 ※施設内研修
17日 小舎制養育研究会～19日
25日 ※施設見学
12月 3日 ※施設内研修
3日 看護保育士部会
2月 10日 ※施設内研修

その他年間を通じて実施したもの

- ・食事作り
- ・入所児童に対する個別面接
- ・行事食の提供
- ・各居室毎の調理実習
- ・入所児童の誕生日会
- ・保護者面接及び家庭訪問
- ・児童自立支援計画票の策定・評価
- ・ケース検討(園内・関係機関)

※は本園と合同で行ったもの

平成 28 年 3 月の退園児・4 月進学時の状況

軽井沢学園

1 退園 (6 人)

氏名 (年齢)	入所 年齢	入所期間	利用児の状況	退園時の状況
D・H (18歳) (男子)	4歳	14年6か月	母親が家を出て、父子家庭となる。弟(1歳下)と共に入所。父親は、こどもに愛情を表すことがなかった。ADHD(多動障がい)を持っており、人間関係を築くことが苦手であった。また、性的問題を数回か起こした。	無事専科高校を卒業することができた。また、何とか、免許証も3月下旬合格。 地元の介護施設(特養)に就職し。父親の元に戻る。
S・Y (15歳) S・T (12歳) 4人姉妹の上2人 下の二人は、在園	12歳 8歳	4年 5年	母子家庭で6人姉妹。長女・次女は他施設。父親は、離婚後、服役中。 経済的な困窮、養育不十分で、下から3人が入所、1年において、三女も入所。	長女は18歳で結婚。次女は、障害者施設に入所。 3女は、中学卒業、4女は、小学校卒業し、母親の養育負担も 少なくなっただため家庭戻る。 3女、4女とも家庭復帰を強く望んでいた。
S・H (9歳小3) S・M] (7歳小1) S・Y (6歳年長) (3人姉・弟・妹)	7歳 5歳 4歳	1年7か月	再婚相手からのDVにより別居。母親は、精神的に不安定となる。離婚調停により、夫の下に残した一番下の子どもの親権を争う。 双方弁護士を立て争う。不足な事態に巻き込まれないため施設入所。	最終的に、末っ子の親権を夫側に渡し、離婚が成立する。母親は、実家に戻り生活をしており、仕事(介護関係)も軌道に乗り、祖母の援助を受け、生活も安定したため家庭に戻る。

2 進学の状況

名前	期間	高校等	概要
H・T (女子)	10年6 か月	軽井沢高校	第一志望ではなかったが、後期試験で合格。
S・Y (女子)	4年	東御清翔高校	後期で志望校に合格。小学校から不登校気味であったが、中学を無事終えた。3月退所
I・A (女子)	16年 8か月	予備校(信学会)	中学2年从不登校。成績は良かった。高校は2年の途中で退学。高卒認定試験を受け、合格。 大学進学を試みたが、志望校には合格できず。期間延長をして、来春、大学を目指す。 予備校の授業料は、バイトで蓄えた預金から自己負担。進学には、母親からの援助が有る。

苦情受付の状況（平成27年度）

1 申し出者（児）

区 分	件 数	備 考
利用者（児）	0	
家 族	3	
その他	0	
計	3	

2 受付者

区 分	件 数	備 考
施 設	職 員	3
	苦情受付者	0
	投書箱	0
県社会福祉協議会	0	
行政機関	0	
その他	0	
計	3	

3 申し出の方法

区 分	件 数	備 考
文 書	0	
口 頭	0	
電 話	3	
その他	0	
計	3	

4 苦情の内容

区 分	件 数	備 考
職員の対応	3	
施設設備	0	
食事関係	0	
他の利用者（児）	0	
その他	0	
計	3	

5 対応の方法

区 分	件 数	備 考
文書で回答	0	
口頭で回答	3	
匿名で回答不可	0	
回答を求めている	0	
その他	0	
計	3	

6 苦情の主な内容

(1) 職員の対応

- ・担当を変えてほしい。
- ・軽井沢学園には子どもを預けられないので措置変更させたい。
- ・サイズのあった服を購入してほしい。
- ・職員の指導方法に疑問がある。
- ・ホストファミリーとの交流を辞めてほしい、同意したつもりはない。
- ・

(2) 施設関係

(3) 食事関係

(4) 他の利用者（児）関係

(5) その他